

令和 3 年

第15回教育委員会会議録

(開会 令和 3 年12月20日)

(閉会 令和 3 年12月20日)

岐阜県可児市教育委員会

令和3年12月20日午前9時00分開会

会場：市役所4階第3会議室

出席委員

堀部好彦君（教育長）

小栗照代君（教育委員）

伊藤小百合君（教育委員）

丹羽千明君（教育委員）

長井知子君（教育委員）

説明のために出席した者

渡辺勝彦君（事務局長）

今井竜生君（学校教育課長）

上北泰久君（学校教育課主任指導主事）

小川隆行君（学校教育課指導主事）

辻原詩織君（学校教育課学校支援係）

石原雅行君（教育総務課長）

佐藤一洋君（学校給食センター所長）

千葉智治君（教育研究所主任指導主事）

福田真弓君（学校教育課学校支援係長）

出席委員会事務局職員

木村彰伯君（教育総務課総務係長）

中水麻以君（教育総務課総務係）

日程及び審議結果

1 開 会

2 第13回会議録（10月定例会）の承認

3 教育長報告

4 教育委員報告

5 議 事

①議案第34号 可児市教育委員会表彰規則及び可児市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について（原案可決）

②議案第35号 押印等の見直しに伴う関係教育委員会訓令の整備に関する訓令の制定について（原案可決）

③議案第36号 可児市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部を改正する訓令の制定について（原案可決）

④議案第37号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について（原案可決）

6 各課所管事項

7 委員からの提案協議事項

8 その他

9 閉 会

開会の宣告

- 教育長（堀部好彦君） おはようございます。
第15回の教育委員会会議を開催させていただきます。
定足数につきましては、出席委員が過半数を満たしておりますので、この会議は成立するということによりよろしくお願いいたします。

第13回会議録（10月定例会）の承認

- 教育長（堀部好彦君） 第13回委員会会議録の承認について。
- 教育総務課長（石原雅行君） 変更はございません。以上です。
- 教育長（堀部好彦君） 変更なしということによりいたします。

教育長報告

- 教育長（堀部好彦君） 続きまして、教育長報告でございますが、大きく4点よりお願いをします。

1点目ですが、教育委員会の一大イベントであった12月5日の教育委員会表彰式、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。今、一大イベントと申し上げましたが、改めて準備の段階から表彰者の選定から始まり、ここでの承認を経て当日を迎えたわけですが、当日の準備の様子も見せていただいて、練習もしたんですけれども、そういったきめ細かな準備を思うと、本当に大きなイベントなんだなということを改めて感じております。

それから、表彰させていただいた方々の多くが出席をしてくださるということも、これも当たり前なことではないなと思います。これは、変な言い方かもしれませんが、教育委員会が市民に浸透していると。教育委員会のことをいいかげんに考えていたら出席もまあいいかとなるんだろうなと思います。中部中学校のソフトボール部も3年生全員来てくれるなど、そういう意味でも大変すばらしい会であったなと思いました。そんな感想を持っております。これが1点目です。

2点目ですが、11月28日に可児市美術展の表彰式、それから12月5日に可児市文芸祭の表彰式ということで、文化のまち可児市を象徴する表彰式が行われました。感じたことは、教育委員会の代表ということで教育長として参列をさせていただいたんですが、子供たちも市民の一人として、大人に混じって同じように表彰されている。これもほかの市町村もそうなのかなと思いつつ、大切なことだなあと思って教育関係者としては大変うれしい思いで参加をさせていただきました。これは可児市ならではの思ったのは、文芸祭の表彰式が a 1 a であったんですけれども、表彰式の後に表彰作品が文学座のプロの俳優さんによって朗読される、1時間ぐらいかけて。また別室で行われて。それはそれでチラシがあって、普通に市民が参加できるようになっている。表彰された方や私も参加をしたんですけれども、中学生の作品も朗読をされました。館長は、あの中学生の作品が一番よかったなんて言うておられたんですけれども、表彰式の後にそういった形でお披露目があるということも、可児市ならではのだなあと感じています。これが2点目です。

3点目は、12月13日教育福祉委員会の西可児中学校の視察がございました。議会等でも議員さんの興味・関心が高いと感じておりますICT教育の視察ということで、タブレットや電子黒板機能付きのプロジェクター等の活用状況を視察されました。

1時間の授業の中で5学級回って、タブレット等の活用の様子を見せていただきました。その後、質疑があつて解散となったんですけれども、議員の方々、皆さん満足げに帰っていかれました。私に直接話をしてくださった議員の方の中に、百聞は一見にしかずですねとおっしゃって、教育委員の皆さんも感じておられたと思いますが、やっぱり実際に見ると、ああなるほどなと思うところがやっぱりあるんだなということで、今後も議員の方々には現場の負担のないところで教育現場をきちっと見ていただくような機会を今後もやっていくことは大切かなと思いました。

その会での質疑は、議員さんと学校の先生というやり取りだったんですけれども、教育長の話の場がなくて申し訳ありませんと最初に言われたんですが、打合せのところで、いいよ、いいよというふうに、そんなのは議員さんの会だからと言っておったんですけれども、どうしても話をしたくなるようなことがあつて。我慢したんですが、どうしても話がしなくなった。何かというと、子供たちの様子を見ていました。ICT機器を一生懸命使っています。グループでもタブレットで自分の考えを書いたり、それを交流し合っています。電子機能付きのプロジェクターを駆使しながら、自分たちがつくった考えを構造的にまとめた社会科の授業の考えだったんですけれども、それをこうやってとうとうと語る。そんなときの様子で、目と目を合わせて聞いているんですよ。話をしているんですよ。グループでタブレットで交流しているときも、タブレットを見るんだけど、友達同士、仲間同士、目が合っているんですよ。ICT機器を駆使しながら、それに使われることなく、余裕でこんなことやっちゃって、この機器を見ながら振り返って目を合わせている。話し手が。聞き手もきちっと見ている。オンライン授業、オンライン授業と言うんだけど、そもそもやっぱり授業というのは、双方向でやっていくことが、フェース・ツー・フェースでやるのが授業の本質じゃないですか。これが、私たちが議会でも言っていることの具体を見た思いで、すばらしい授業をなされているなあと、本当に話したい、本当に聞きたい、そういった雰囲気があふれる授業だったなあと思ったので、それをどうしてもしゃべりたかったんですけれども、しゃしゃり出ちゃあかんと思って、黙って。で、我慢できないのでこの場で披露させていただきました。これが3点目です。

4点目ですが、可児市の10大ニュースが職員掲示板であったので見せてもらったんですが、市長の記者会見の資料が載ってまして、その10大ニュースの中に新しい学びの形ということで、教育委員会の取組を紹介していただいております。これは、石原課長さん方がまとめてくださったものが取り上げられているということで、ありがとうございます。

新しい学びの形、1人1台タブレット配付、電子黒板導入、普通教室に換気扇、網戸を設置、特別教室にエアコン設置というのが、みんなで取り組んだウィズコロナというような項目のうちの1つに取り上げられて、教育委員会の取組が10大ニュースとなっているということでお伝えをするとともに、本当に事務局の方々の御努力のおかげだと改めて感謝申し上げたいと思います。これが4点目です。以上です。ありがとうございます。

した。

教育委員報告

○ **教育長（堀部好彦君）** 続きまして、教育委員報告ということでお願いします。

○ **教育委員（丹羽千明君）** おはようございます。

前回の教育委員会以降の御報告をさせていただきます。

教育長もおっしゃいましたけど、12月5日、可児市教育委員会の表彰式がございました、大変出席率もよく、厳粛に開催されてよかったなあと思います。

それから、12月13日に兼山小学校5、6年生対象に可児ライオンズクラブから薬物乱用防止教室をまた開催させていただきました。私が講師をさせていただいたんですけど、一応免許も持っておりますので、静かに真剣に聞いてくれました。また寸劇に参加していただいたり、体験しながら、薬物の怖さと断り方を話しさせていただきました。

その後に、川島校長と学校の様子についてお話を伺う機会がございましたので報告させていただきます。

まず、A4の資料、これは特認校のPRということで、以前配っていただいた資料でございますけれども、これについて報告させていただきます。これは、6年生の児童、10人ぐらいで全部つくられたということで、私は先生か教育委員会がつくられたのかなと思っていたんですけど、構成から写真から全て6年生が協力し合って兼山のよさを伝えようということで、決めてつくられたということでした。一人1台のタブレットが支給されまして、その成果でこれがまたできたと、ここまで短期間で慣れてつくったということでしたので、この資料はまた各小学校にもっと大きいサイズで掲示されて、兼山小学校の特認校のPRに使われているということでしたので、報告させていただきます。

それから、川島校長の願いとしては、順調に特認校のほうも進んでいますけれども、地域の方からの発信という、地域住民からの発信というか、そういった御協力をまたお願いしたいと。またコミュニティ・スクールのような形で、兼山のまちをまた地域の方から御協力いただけるとありがたいなとお話を伺いましたので報告させていただきます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

このチラシというかポスターは、本当に読ませていただくと、兼山小学校の子供たちの笑顔のもと満載かなという感じがして、大変うまいことまとめてくださっているなと思っています。

それと、薬物乱用防止の件なんですけれど、大変これも丹羽委員さんが講師ということで、ありがとうございます。覚醒剤だとかアルコールだとかたばことかの薬物の怖さということだけではなくて、今頭痛薬とか普通の風邪薬をたくさん服用するということで、遂げようとする子供たちもいると。これは市内にもいると思っていいと思っているんですけども、非常に大切な指導だなと感じています。いろいろと今後とも御指導よろしくをお願いします。ありがとうございます。

○ **教育委員（小栗照代君）** おはようございます。

今、教育長や丹羽委員もおっしゃいましたけれども、12月5日、教育委員会表彰式に参加させていただきました。大変大勢の方に御参加をいただきまして、そしてコロナの中、1年間子供たちがスポーツなどに一生懸命取り組んだその成果を表彰させていただ

くことができましたし、また教育に御尽力いただいた皆様方の結果ということでも表彰させていただけて、大変よかったなと思っております。

それから、これは1月15日、16日ですが、可児市の小・中特別支援学級の作品展なんです、こちらが今年も開催されるという御連絡をいただいたんですけども、残念なことに来賓等は出席ができないということで、コロナの影響がまだまだあるんだなと思っております。ですから、緊急事態宣言だとかがなくなっても、まだまだその辺りのところはしっかりと気をつけていかなければいけないとともに、子供たちが日頃一生懸命やっていることもなかなか発表として皆さんに見ていただく機会がないというのは大変残念なことだと思います。

それで、先生方もそういったところも苦労しながら、子供たちを見ていただいているというのは、大変長期になっていますけれども本当にありがたいことだなあと思いました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

小栗委員が言われるように、特別支援学級に在籍の子供たちにとっての作品づくり、表現活動というのは、とっても大切な意味がありまして、私が校長のときにそういった作品は絶対に見に行くようにしたし、子供たちにも直接その作品のよさを伝えるにはしてきたんですけども、そういった作品展が今後復活して、通常どおりに行われることを本当に願うばかりです。ありがとうございます。

○ **教育委員（長井知子君）** おはようございます。

12月の初旬に、皆さんと同じく表彰式に参加させていただきました。ありがとうございました。

別件では、先日、岐阜市と可児市のいわゆるママ友とPTA関係の友人に会いました。たまたま話していたら、その2人のお子さんが不登校で、小学校のときはあんなに社交的だったのに、何でこの子が、どうしてなんだろうという親の葛藤がすごくあって。1人の子は、ちょっと長い間、1年ぐらい全欠で行けていないので、勉強もついていけなくなってきちゃったレベルなんですけど、やっぱり学校に行けなくても、社会との接点を持たせてあげたいという親としての思いがあって。なので通信教育の学校もいろんな形があって、勉強をして、時々行く学校や、ほぼ学校状態みたいな感じで行けるような、そういう学校があるようで、皆さんも視野を広げているような学校を探してやっているわと言っていました。

もう一人の子は、コロナで学校に行きづらくなってしまったんですけど、だけど、自分の将来を考えたときに、行きたい高校が見つかったと。それがちょっと希望になって、今のままの成績だとその学校に行けないなというのに気づいて、ここ週に二、三回ぐらい学校に行けるようになったわと言っていました。なので、こうやって、もし教育委員会やPTAやそういったところに関わっていなかったら、不登校の子がこんなにいるというのは分からなかったと思うんですけど、ここでこうやって携わらせていただいて、本当にたくさんいるんだなと改めて思いました。なので、本当に不登校の子に対しての対策を真剣にやっていかなきゃいけないなと思いました。

それと別件で、たまたまちょっとした会があってそこに行ったときに、隣に座られた方が静岡県焼津市の方で、何か教育関係の仕事をしていると言われていました。私が、

可児市に住んでいますと言ったら、すごく驚かれて、可児市って外国籍の子に対しての教育だとか、トップクラスなんですよと教えていただいて、うらやましいですと言われて、私もすごくうれしく思いました。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** 焼津市の方の大変うれしいお話をありがとうございました。

今話題に上げられた不登校、それから外国籍児童・生徒、特別支援教育、この特別支援学級在籍の子たち、そういったいわゆるマイノリティーの児童・生徒へのまなざしというのは、私たちは忘れてはいかんなということで、教育長に就任したときに自分の中でそれが一番トップの課題。だから、笑顔のもとと言っているのも、そういった子供たちの笑顔のもとを考えていくことが、みんなの全員の笑顔のもとに絶対つながるだろうなと思っています。

不登校については、まず防止策を考えたい。それから、不登校になってひきこもりがちになっている、そういった子供たちへの援助も考えていきたい。その子供たちの社会とのつながりとおっしゃったんですけれども、まさにその辺りは大切だなあと考えているので、そのうちの1つとしてa1aとの連携、この間も少し話をしたかもしれないんですが、a1aがやってくださる活動に参加していけるような、そんなことができないかな、不登校傾向のある子供たちが。そんな部分を今考えている最中で、明らかになったらまた報告をさせていただきたいと思うし、市長にもお伝えをしながら進めていくつもりです。ありがとうございました。

○ **教育委員（伊藤小百合君）** おはようございます。よろしくお願ひいたします。

皆さんと同じで、12月5日に可児市の教育委員会の表彰式に出席しました。たまたま顔見知りの生徒がいて、ずうっとちょっと気にしていた子だったので、出席した姿を見ることができてちょっとほほ笑ましかったですね。今後ずっとその分野で頑張っていってほしいなと感じました。

別件なんですけれども、新聞に帷子小学校のことが載っていました。コロナ禍だということで、修学旅行ができない、今年の6年生は去年の宿泊研修もしていないということで、学校の先生が宿泊の経験を何とかしてできないかということで、学校で寝袋を使って泊まるという記事が載ってまして、私も新聞を見て初めて知ったんですけど、へえとっていて、学校に問合せしました。校長先生は出張されていたので、教頭先生とお話ししたんですけれども、やっぱりそういう機会はなかなかないので、子供たちもすごくうれしいというか、和気あいあいとしていて、普通だと部屋の中で枕投げをしたりとか多分すると思うんですけど、そういうのもできないので、体育館で枕の代わりだと思んですけど、新聞を入れて、それを枕投げに見立ててゲームをしたとか、PTAのほうでかなり協力をいただいて、最終的に各教室に分かれて、寝袋に入って寝たと。11月なので結構寒い時期だったので、先生、暖房とかはどうなんですかと聞いたら、暖房はもちろんつけていたんですけど、やっぱり子供たちが楽しんで、気持ちも盛り上がっているから、暑いから切っていいとか、そういうことだったらしくて、調節の仕方を各自教えて、そこら辺は子供に任せたそうなんです。

また、今度は朝、見回りに行ったときに、たまたま女子のグループが教頭先生を呼んで、先生、先生、ここから朝日がすごくきれいに、先生が行かれるちょっと前だったらしいんですけど、すごくきれいに見えたんだよという話が、学校にいる新しい発見が違

った形でできたんじゃないかということで喜んでいたそうです。結局いい思い出が1つできてよかったねという話で報告です。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** いい話をありがとうございました。

新聞を私も拝見しましたし、新聞に載る前に井戸校長から訪問させてもらったときにその話題をお聞きして、楽しみにしておったところなんですけれども、あれは教職員が何とか子供たちのためにいいことをやってやれないだろうかという発案が出て、それを校長もいいんじゃないということで受けて、それをまたPTAの役員さんが受けてくださって、本当に役員さんが一生懸命骨を折ってくださったと聞いています。先ほどの枕投げの話ですけれども、枕投げの発案も多分役員さんだそうで、枕を作ったのも役員さん。その辺の枕の実物を私も見せてもらったんですが、新聞紙を中に入れて。当たっても痛くないようにという配慮もあるんですけれども、すごく丁寧に作ってありました。そういった親さんの愛情と教職員の愛情で、子供たちは充実した夜を1泊の活動だったんだろうなと。

またそれもいいなと思ったのは、もう一つ、1年生とか低学年の教室を使ったそうなんですけれども、その教室に「楽しんでね」というような言葉が、その学級の低学年の子たちが6年生に向けたメッセージが黒板に書いてあったということも聞いて、本当にいろんな子供が大切にされる、お互いに大切にしよう活動があることは本当にすばらしいなあと私も思いました。いいお話をありがとうございました。

以上で教育委員報告を終わりたいと思います。

議事

- **教育長（堀部好彦君）** では議事に入ります。
- **事務局長（渡辺勝彦君）** それでは、議案書を御覧ください。

表紙の裏ページの目次のとおり、本日は議案が4件です。

議案第34号 可児市教育委員会表彰規則及び可児市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について、議案第35号 押印等の見直しに伴う関係教育委員会訓令の整備に関する訓令の制定について、議案第36号 可児市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部を改正する訓令の制定について、議案第37号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、以上4件についてよろしくお願いします。

- **教育長（堀部好彦君）** 議案第37号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について、その他の児童生徒校内事故、問題行動、交通事故等の記録については、個人情報、プライバシーに関わる情報のため、教育委員会会議規則第14条の規定により非公開とすることにしたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については非公開といたします。

議案第34号 可児市教育委員会表彰規則及び可児市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定についてを議題といたします。

- **教育総務課長（石原雅行君）** 議案書の1ページを御覧ください。

議案第34号 可児市教育委員会表彰規則及び可児市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について。

可児市教育委員会表彰規則及び可児市立小中学校管理規則の一部を改正する規則を次のとおり制定する。令和3年12月20日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記1. 改正理由、全庁的な行政手続における押印及び署名の見直し並びにオンライン化に向けた取組に基づき、関係規則の押印手続に係る規定を改正するもの。

2. 主な改正内容、第1条関係、可児市教育委員会表彰規則の一部改正、推薦書（別記様式第1号）及び履歴書（別記様式第3号）中の「㊟」を削る。

第2条関係、可児市立小中学校管理規則の一部改正、校外行事实施届（別記様式第1号）、校外行事实施承認申請書（別記様式第2号）、準教科書使用承認申請書（別記様式第3号）、教材使用届（別記様式第4号）、児童生徒の問題行動に関する報告書（別記様式第5号）、出席停止に関する意見具申書（別記様式第6号）、出席停止の解除に関する意見具申書（別記様式第7号）、出席停止の期間中及び期間終了後の報告書（別記様式第8号）中の「印」を削る。

3. 施行日、令和4年1月1日。

4. 改正文、以下のとおりということで、2ページに記載してあります。

御承知のとおり、国をはじめ全国的に押印を廃止し、デジタル化を進め、手続における市民の負担を軽減し、利便性の向上を図ろうと進めているものになります。原則押印を求める根拠のないものや、押印を求める合理的な理由が認められない場合は、押印を求めないという考え方になります。

教育委員会の業務においても、今まで押印等を求めていた手続を洗い出しまして、見直しを行いました。これにより、教育委員会として押印を求めるのは要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給申請書兼承諾書だけになります。この承諾書は、議案は違いますが、今回の議案書の8ページに載っておりますので御覧ください。

この一番上の囲みの部分になります。この囲みの下の部分の申請書、保護者欄については米印で「署名又は記名押印」となっております。これは、保護者が承諾事項に同意の上、申請をしてもらうという承諾の意思確認ということで、署名または記名押印をしてもらうことになります。署名の場合は押印は要りません。先ほども申しましたが、これ以外は、例規集に登載されている教育委員会の様式等で押印を求めるものはないことになります。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ありますでしょうか。よろしいですか。

〔挙手する者なし〕

特にないようですので、この件については原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ありがとうございました。

異議がないようですので、この件については原案のとおり承認をいたします。

続いて、議案第35号 押印等の見直しに伴う関係教育委員会訓令の整備に関する訓令の制定についてを議題といたします。

- **教育総務課長（石原雅行君）** 議案書の3ページを御覧ください。

議案第35号 押印等の見直しに伴う関係教育委員会訓令の整備に関する訓令の制定に

ついて。

押印等の見直しに伴う関係教育委員会訓令の整備に関する訓令を次のとおり制定する。
令和3年12月20日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記1. 改正理由、全庁的な行政手続における押印及び署名の見直し、並びにオンライン化に向けた取組に基づき、関係訓令の押印手続に係る規定等を改正するもの。

2. 主な改正内容、第1条関係、可児市教育委員会文書管理規程の一部改正。第5条第5号において文書の起案に係る修正の仕方について改める。伺書（別記様式第4号）中の「㊟」を削る。

第2条関係、可児市立小中学校事務共同実施要綱の一部改正。学校運営支援室業務に係る必要書類持出申請書・返却報告書（別記様式第3号）中の「㊟」を削る。

第3条関係、外国勤務等を命ぜられた配偶者の外国への赴任に同行する職員の職務に専念する義務の免除に関する要領の一部改正。職務専念義務免除申請書（別記様式第1号）中の「平成」及び「印」を削る。

誓約書・同意書（別記様式第2号）中の「平成 年 月 日」を「 年 月 日」に改め、「印」を削る。

承認期間短縮申請書（別記様式第3号）中の「平成」及び「印」を削る。

第4条関係、可児市立学校職員の勤務評価に係る意見の申立て実施要領の一部改正。申立て書（別記様式第1号）中の「㊟」を削る。

第5条関係、可児市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部改正。辞退届（別記様式第4号）中の「印」を削る。

3. 施行日、令和4年1月1日。

4. 改正文、以下のとおりということで、4ページに記載されております。

先ほども申し上げましたとおりですが、押印等の見直しに伴う議案です。先ほどの議案第34号は規則の見直しで、この議案第35号は訓令の見直しになります。訓令というのは事務の手続的な内容で、内部的に職員に向けて出すものが主なものになります。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ありますでしょうか。よろしかったですか。

〔挙手する者なし〕

特にないようですので、この件については原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

異議がないようですので、この件については原案のとおり承認をいたします。

続いて、議案第36号 可児市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部を改正する訓令の制定についてを議題といたします。

○ **学校教育課長（今井竜生君）** 議案書の5ページを御覧ください。

議案第36号 可児市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部を改正する訓令の制定について。

可児市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部を改正する訓令を次のとおり制定する。令和3年12月20日提出、可児市教育長 堀部好彦。

記1. 改正理由、ICT教育の実施に向けた環境整備の一環として、モバイルルーター等の貸出しを開始したことに伴い、貸出しを受けた被認定者に対するオンライン学習費に係る規定の追加、就学援助費の代理受領に係る規定、申請書の様式等を改めるものです。

2. 主な改正内容、第4条、就学援助費の費目にオンライン学習通信費を追加し、物品の貸出しを受けた被認定者に支給する旨を規定する。

第12条、就学援助費の代理受領について、校長、その他適当と認める者に受領させることができる旨に改める。

その他、代理受領に係る規定が改められたことに伴い、別記様式第1号を改正する。

3. 施行日、令和4年4月1日。

4. 改正文、以下のとおり。

6ページ、7ページに改正前と改正後の内容をまとめてあります。

オンライン学習に必要な通信費は、通常それぞれの家庭での負担をお願いしておりますが、Wi-Fiルーターの貸出しを申し込まれた方に対しては、通信費を就学援助費として支給するものです。希望される保護者の方には、オンライン学習通信費を支給できるように書類の提出をお願いしております。

今後、4月1日からの実施を予定しておりますが、現在のところ条件に当てはまり、対象となる家庭は1件になります。

また、8ページ、9ページに要保護・準要保護児童生徒就学援助費支給申請書兼承諾書をつけてあります。代理受領に係る規定については、学校給食費の徴収を給食センターが行うことになりましたので、より分かりやすく使いやすいように様式を見直したものです。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ただいまの事務局の説明について、御質問、御意見等ありますでしょうか。
- **教育委員（丹羽千明君）** まず、モバイルルーターの貸出しを申し込めたのが1件だけということなんですけど、蘇南中学校で前伺ったんですけど、希望者が思ったよりずっと少なかったということを言われたんですけども、実際、インターネット環境を持っている方が多いということでしょうか。
- **学校教育課長（今井竜生君）** 全体で3件申込みがあって、1件は返却されたと聞いております。今、おっしゃっていただいたように、Wi-Fi等の環境は各家庭、かなり整っているように思います。以上です。
- **教育委員（丹羽千明君）** 例えば、準要保護を受けていない家庭で、Wi-Fi環境がないという場合は、御自身でやっていただかないかと思うんですけども、その方にも貸出しする場合もあるということでしょうか。
- **学校教育課長（今井竜生君）** 今のところ規定は、準要保護の家庭を対象にしておりますが、今後ですけれども、かなりWi-Fiとしては準備は整っておりますので、要件次第では貸し出すことも可能かと思えます。
- **教育委員（丹羽千明君）** 分かりました。
- **教育長（堀部好彦君）** そうですね。準要保護等家庭以外のニーズの把握といたしますか、要望等があった場合には、ちょっと考えていかなくちゃならないかもしれない

ですけど、今のところそういった問合せ等は。

- 学校教育課長（今井竜生君）　　ごさいません。
- 教育長（堀部好彦君）　　ないということですね。
ほか、よろしかったでしょうか。
- 教育委員（丹羽千明君）　　モバイルルーターの貸出しに伴った学習通信費ですね。
それは今のところお幾らぐらいかな。それって分かりますか。
- 学校教育課長（今井竜生君）　　通信費の金額ですか。
- 教育委員（丹羽千明君）　　そうですね。オンライン学習通信費の金額。
- 学校教育課学校支援係長（福田真弓君）　　民間の貸出しを受けた世帯については、その内容といえますか、通信料がどのぐらいの量で幾らというふうに契約をしていたくわけなんですけれども、内容によっては金額が違うので。市は貸出しは行うんですが、その後、どういった契約をされるかというのは、その世帯の方で進めていただくものになるので、必ず一律幾らというわけではなくて、例えば通信料が多ければ1か月当たりの料金も高くなりますし、少なければ本当に1,000円以下の月額のものもあります。
- 教育長（堀部好彦君）　　それぞれの家庭に任されている部分であるということですね。
- 学校教育課学校支援係長（福田真弓君）　　はい。
- 教育委員（丹羽千明君）　　分かりました。
- 教育長（堀部好彦君）　　ありがとうございました。
ほか、よろしかったでしょうか。

〔挙手する者なし〕

特にないようですので、この件については原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

ありがとうございました。

異議がないようですので、この件については原案のとおり承認をいたします。

各課所管事項

- 教育長（堀部好彦君）　　次に、各課所管事項に入ります。
- 事務局長（渡辺勝彦君）　　それでは、私からは、議会の関係について御報告させていただきます。

12月議会です。

今渡北小学校、今渡南小学校の職員室の増改築工事、それからタブレットの追加購入について、補正予算案に計上させていただいて、11月26日の議会初日に可決をいただきました。

それから、12月2日、3日に行われました一般質問では、教育委員会関係に関して6件質問をいただきました。

まず、子供の自転車事故防止について、澤野議員から御質問がありました。昨今、自転車と歩行者の死亡・重傷事故が発生していることからの御質問になります。

現在の取組といたしまして、児童・生徒への長期休暇前の具体的な安全指導、保護者に対する多言語による啓発、外部講師も入れた講話などの活動、刑事上・民事上の責任をよく理解できるような具体的な事例について考えさせる取組、保険加入への対応など、具体的な取組の内容について答弁をさせていただきました。

次に、オーガニック給食の導入について、渡辺仁美議員から御質問がありました。オーガニック給食は実際に使用できる食材が流通していないこと、形や大きさがふぞろいな場合も多く、大きさや数が確保できるかとか、価格が高くなることが見込まれること、虫の混入の可能性が高くなると、そんなようなことから導入はなかなか容易ではないとの認識を持っていると答弁させていただきました。

一方、導入してほしいという保護者の声も寄せられていることから、まずは既にオーガニック給食を導入している自治体の情報収集から始めると答弁させていただきました。

同じく、渡辺仁美議員から中学生の制服をジェンダー平等へという御質問をいただきました。現在、可児市の中学校では、令和5年度をめぐりに制服の見直しに動いていること。見直しの案としては、基本デザインは男女同一として、スカートを選択できるようにする案が出されていることなどについて答弁をさせていただきました。

それから、GIGAスクール構想の現状と課題について、中野議員から御質問がありました。タブレット活用のメリットとしましては、動画や画像、音声を視聴することで理解・習熟に役立つことや、学習を深めること、仲間の関わりに活用できること。デジタルで確認、評価することによって、教職員の負担軽減にも役立っていること。それから、全小・中学校でタブレットを家に持ち帰り、接続テストを完了しております。オンライン授業の準備はできているということなどを答弁させていただきました。また、オンライン授業の問題点としては、家庭の協力が必要なことや、子供や教師の負担感が増すこと、できることが限られることから、長時間授業は難しいことなどが課題であるということなどを答弁させていただいております。

それから、学校給食費の徴収者変更後の課題について、山根一男議員から質問がありました。学校給食費は今年度から学校から給食センターに徴収者が変更されておりますが、まずその目的については教職員の負担軽減がメインであること。可児市では、国や市町村の動きに先駆けて取り組んできましたが、今年度徴収業務に移管したことで、実際教職員の負担軽減になったという声も聞いておりますし、口座振替の金融機関も増えて、保護者の利便性も向上していること。今のところこの変更によって大きな問題はないですが、今年度の徴収状況も踏まえて、また新たな課題については、検討していきたいということなどを答弁させていただきました。

最後に、同じく山根議員から、兼山小学校の小規模特認校導入について御質問いただきました。兼山小学校では児童数が減少しており、今後の在り方等について、保護者説明会やアンケートを実施しましたが、保護者の75.8%が複式学級になっても兼山小学校で学びたいということでした。こうした経緯を経て、小規模特認校制度の導入に至り、現在募集中であるということなどを答弁させていただきました。また、兼山小学校には金管バンドなどの特色や魅力があること、それから応募の有無が最大の課題と捉えておりましたが、現時点で4人の申込みがあり、地域からも協力的な意見をいただいているということで、こうした現状についても答弁をさせていただいたところです。

それから、12月13日に開かれました教育福祉委員会で、兼山小学校の小規模特認校の状況についてや、コミュニティ・スクールについての報告をさせていただいたところです。また、午後からは先ほど教育長のお話にもありましたが、西可児中学校のICT教育の視察に教育福祉委員会が訪れました。以上になります。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **教育総務課長（石原雅行君）** 私からは2点連絡させていただきます。

まず初めに、今局長から話がありましたが、小規模特認校の申込み等の状況を報告させていただきます。今日現在ですが、電話等で問合せなどがあつた世帯は12世帯で16人、申込みがあつたのは3世帯4人と、先月報告させていただいたときと変わっておりません。今後面談を実施しまして、1月下旬には可否決定の連絡をする予定です。申込者全員が兼山小学校で学ぶことになった場合は、来年度の複式学級は解消できる見込みです。あと1週間ほど申込期限がありますので、新たな申込みがあることを期待しているところです。

あと1点、連絡事項になりますが、電子メールで事前に確認させていただきましたが1月17日の教育委員会会議終了後に今渡にある令和さくら高等学院の視察を計画しておりますので、よろしくお願ひいたします。

机の上に令和さくら高等学院のホームページの資料を置かせていただきました。発達障害を持つ生徒のための通信制高校のサポート施設で不登校や支援学級、特別な支援が必要な生徒も入学が可能であり、高等学校の卒業資格が取れる通信制のサポート校ということになります。小・中学校とは違うんですが、特別な支援が必要な生徒の受入れに係る取組について教えてくださいということで連絡させていただきます。また、部活動でeスポーツをやっているということで、教室や職員室などの施設も見学させていただきたいということでお願ひしてあります。

11時ぐらいに教育委員会会議を終了しまして、令和さくら高等学院へ移動し、11時15分から30分間ぐらい視察をする予定です。その後、eスポーツをやっているところと食堂に移動しまして、それは川合になりますが、そこで食事を一緒に取っていただきます。バイキングという形ですが、1人300円お願ひしたいと思ひますのでまた徴収させていただきますので、よろしくお願ひいたします。以上です。

○ **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。

○ **学校教育課長（今井竜生君）** お願ひします。

11月の教育委員会会議以降の動きについて、2点説明します。

11月22日ですけれども、広陵中学校が人権教育総合推進地域事業公表会として授業、それから全校集会を公開しました。授業においては、グループ学習を効果的に入れたりとか、人との関わりを考えさせたりする活動が見られました。また、全校集会では、広陵中スマイル宣言についての各クラスのアンケート結果を全校で交流し合い、話し合いを進めました。エール広陵の方の協力も見られました。特別支援学級の生活単元の授業で活動を支援していただいたり、全校集会のまとめとして元教育委員の小野口さんに話をしていただいたりと、地域の方が学校の活動を支えていることもよく分かりました。

2点目です。先ほど、少しお話もありましたが、コミュニティ・スクール導入についての情報です。今後、令和4年度から学校運営協議会制度を取り入れ、コミュニティ・

スクールとしていく学校があります。旭小学校と広陵中学校では、地域・学校からコミュニティ・スクールを立ち上げ、地域の方が積極的に協力していこうという動きがあります。地域教育委員会としても、地域や学校の願いを生かして、コミュニティ・スクールの導入を進めていきたいと思っております。今後、学校管理規則の改正と学校運営協議会規則の制定を進めて、次年度のスタートに間に合わせていきます。学校は、組織づくりのための準備を進め、選ばれた委員の方と一緒に学校の課題を考えたり、目標を共有して一緒に活動できる組織となるように話し合いを進めているところです。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **教育研究所主任指導主事（千葉智治君）** お願いします。
2点御報告します。

1点目は、1月15日、16日に開催予定の小・中学校の美術展、それから特別支援学級の作品展についてです。先ほど、小栗委員さんからも説明がありましたが、昨年は中止したこの美術展等を今年度は開催できることになりました。しかしながら、コロナの感染拡大予防という観点で、出品者の御家族のみの観覧という形で、コロナ対策を行った上で今年度は実施したいと考えております。ですので、御来賓の方々にも大変申し訳ないですが、今回は御遠慮くださいということになります。また、一般の市民の方に見ていただけないのが非常に残念ですが、まずはそういう形でやってみたいと思っております。

2点目です。資料の2ページの真ん中辺りにありますが、令和4年度の笑顔の学校公表会についてです。今年度は公表会が実施できましたが、次年度も帷子小学校、旭小学校、東明小学校で計画どおり実施する方向で今動いています。それから、今後コロナの状況がまたどうなっていくか分からない中で、また方向性がいろいろ変わるといっても、学校も非常に戸惑うということもありまして、対象校3校の希望により、来年度も今年度と同様の動画配信型を予定しております。なお、今年度は今渡北小学校と中部中学校の先生たちが自分たちで動画をつくって大変負担が大きかったということもありますので、次年度は動画作成をしてくださる会社をお願いをして授業動画を作成していただけるよう手はずを整えております。地区の公表会を行った西可児中学校と同じような形で、より見やすい動画になるように準備を進めたいと考えています。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
- **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** 私からは1点になります。

給食費の11月の収納状況についてです。11月末の口座振替の調定件数が7,828件、調定額が3,754万4,800円でした。これに対して収入件数が7,311件、収入額が3,506万400円となります。振替できなかったものについての再振替は517件、248万4,400円でした。納付書のほうが196件で94万7,800円。収納率は現時点では何とも言いえないですが、年度末、決算のときに具体的数値を出していきたいと思っております。以上です。

- **教育長（堀部好彦君）** ありがとうございます。
各課からの報告等につきまして、御質問、御意見ありますでしょうか。
- **教育委員（長井知子君）** 先ほど教えていただいたオーガニック給食がされている自治体って、ちなみにどこなんですか。
- **学校給食センター所長（佐藤一洋君）** 今年、新聞でも話題になりましたが、名古屋市が給食の中で1回、海外産のオーガニックバナナを提供したというのは聞いてお

ります。それから、愛知県あま市、千葉県いすみ市、愛媛県今治市などでやっています。いすみ市や今治市、あま市もそうだと思うんですけども、地元の農家と協働して、農業のほうが主導的にやっているところが多いようです。名古屋市は、それに対して、バナナをまず入れてみようといったことをやっているようです。

○ **教育委員（長井知子君）** ありがとうございます。

○ **教育長（堀部好彦君）** ほか、よろしかったでしょうか。

千葉主任さん、突然でごめんなさい。「可児の方言」の活用についてはよろしかったですか。以前も話題にしておられましたかね。

○ **教育研究所主任指導主事（千葉智治君）** 教育委員会会議の中では話題にしていないかもしれません。

○ **教育長（堀部好彦君）** ぜひよろしくをお願いします。

○ **教育研究所主任指導主事（千葉智治君）** 資料の一番下に載せてありますが、下恵土学研究会、下恵土地区センター長さんも見える研究会の方が「可児の方言」というものを冊子と方言が入っているDVDという形でまとめてくださいました。ぜひ学校教育の中で活用をということで、教育長に紹介がありました。研究所でどんなふうに活用できるかなと考える中で、国語の教科の中にも方言を扱うものがあったり、それから総合的な学習の時間の中にも使えそうだということで、各校に1セットずつですが、先週の金曜日に配付をし、校長会、教頭会を通して、ぜひ御活用くださいということで周知しました。センター長さん自ら研究所へ持ってきてくださり、学校で使っていただけるというのは非常にありがたいと。そういった地域のお力をお借りしながら、学校教育を進めていけるのは本当にありがたいことだなあと私も感じました。またどんなふうに活用していくか見守っていきたいなと思います。

○ **教育長（堀部好彦君）** 補足をさせていただきますと、今回の可児の方言は、冊子のみならずDVDがついておりまして、ネイティブ可児弁ですね。ああ、こういうふうに発音するんだなというのは、文字をみただけでは分からないですよ。そういった教材になっているということです。下恵土地区センターの活動の中にこの下恵土学研究会というのが位置づいているんですけども、これは学校教育と子供たちへの指導という点で、非常にありがたい研究会だなと思っています。今後も学校と地区センターとの連携を大切にしながら、地域の方々が育む笑顔のもとということもあるかと思しますので、そういった大変よい例ではないかなと考えておりますので、つけ加えさせていただきました。ありがとうございます。

では、質問等よろしかったでしょうか。

○ **教育委員（小栗照代君）** 先ほど、中学校の制服のお話でございまして、先日、知人が連絡というか雑談で聞いたんですけども、ブレザーになる方向ということで、その方は個人的にセーラー服を残してほしいのよねなんていうお話をちらっとされたので、私としては女の子がズボンをはきたかったり、男の子がスカートをはきたかったり、今はそういったことも考えなきゃいけない時代だよねというのをお伝えしたら、ああ、そうだねというようなことでお話は終わったんです。大変教育に熱心な保護者の方なんですが、そういったジェンダー平等のようなことをあまり意識をしないのでいらっしゃる保護者の方もまだまだいらっしゃるんだなというところで、やはり保護者

の方に御理解をいただいで進めていただけるといいかなと思いました。

- **教育長（堀部好彦君）** そうですね。おっしゃるとおりで、保護者の理解を得ながら共に考えていくという視点で進めているところですね。あと、代表生徒もその取組に参画をしていて、これも非常に大きな意味があると思います。例えば、ジェンダーということについての指導になりますよね、一緒に考えていくということが。ジェンダー平等についての知識、理解、考え方を身につけさせる上でも、この取組に生徒が参画をしているというのが非常に大きな意味があると思っています。ありがとうございます。

ほか、よろしいでしょうか。

[挙手する者なし]

ありがとうございました。

委員からの提案協議事項

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、次に教育委員会からの提案協議事項についてを議題といたします。

何かありますでしょうか。

- **教育委員（丹羽千明君）** 提案ではございませんが、10月の教育委員会議の提案事項というところで、旭小学校の時間割の変更についてお尋ねしたんですが、11月から始まったということですので、それから1か月半以上たっていますが、その状況など、また分かりましたら御報告お願いしたいと思いますが。

- **学校教育課長（今井竜生君）** 旭小学校に聞き取りをしました。日課変更されて、様子はどうかということです。保護者からの苦情とか御意見は特にありません。相談をしてきていた保護者の方からは、どうですかということでお尋ねしたところ、大丈夫ですという返事をいただいたそうです。それから12月10日の学校評議員会がございましたので、評議員さんたちにも、今、子供たちの様子はどうかということをお尋ねしたんですが、例えば、夕方遅くなっていることもあるので、暗くなって帰るようなことがなくなって、安全面ではよい判断だったのではないかとというふうに評議員さんからも言っていたというそうです。

学校としては、職員の働き方改革につながっているということをお尋ねしてみました。時間外勤務の時間が減っていることとか、それからゆとりが生まれていて、子供の下校が早くなったことで、職員が家庭連絡をして、保護者とのやり取りをした後に少し時間ができるので、例えば自分の病院に行かないかとか、そういうような用事があったときに、その時間が生まれてきたりとかして、よい面として捉えていると。変更したことについては、今のところ現状いい状況であるようです。以上です。

- **教育委員（丹羽千明君）** ありがとうございます。うまくいっていただければいいと思いますが、ありがとうございます。

そのことで、他校の動きというのは何かありませんか。休憩時間が10分から5分というのは大変な影響があるかもしれません。

- **教育長（堀部好彦君）** この件についての他校の動きについて、特に変わったところはありますかということですか。

- 教育委員（丹羽千明君） そういふことですね。
- 学校教育課長（今井竜生君） 旭小学校が変更したことによつて、ほかがどうだといふのは聞いておりませんが、休み時間についても調べてみたところ、ほとんどの学校が休憩時間は10分休みを取っています。兼山小学校だけが5分休みで、ただし、例えば冬時間というふうで下校時間を少し早めるような学校もありまして、その時間を生み出すために休み時間を5分にして、冬時間のときは時間を短縮するための方策としてそういうことをやってみえるところもあります。以上です。
- 教育長（堀部好彦君） よろしかったでしょうか。
- 教育委員（丹羽千明君） はい、分かりました。
- 教育長（堀部好彦君） ありがとうございます。
ほか、提案協議事項等ございますでしょうか。よろしいですか。
〔挙手する者なし〕

その他

- 教育長（堀部好彦君） では、その他の次回の日程等について。
- 教育総務課長（石原雅行君） 次回の日程ですが、前月決めていただきました1月17日月曜日午前9時から、この同じ場所、市役所4階第3会議室でお願いいたします。
2月の日程ですが、事前に調整させていただきましたが、午後から総合教育会議を実施したため、2月16日水曜日午前9時から5階の第1委員会室でお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。
総合教育会議の議題ですが、先ほどから出ていますコミュニティ・スクールと、不登校の児童・生徒対策についての市長との協議をお願いできればと考えております。以上です。
- 教育長（堀部好彦君） では、教育委員会会議につきましては1月17日9時から、2月は16日の9時からということをお願いをしたいと思います。
ここで休憩とさせていただきます。
10時20分まででよろしいでしょうか。
では、休憩に入ります。お願ひします。

休憩 午前10時10分
再開 午前10時20分
- 教育長（堀部好彦君） では、会議を再開したいと思います。
- 学校教育課長（今井竜生君） 最初に、学校教育課長から2点修正をさせていただきます。お願ひします。
- 学校教育課長（今井竜生君） 先ほど、議案第36号の可児市要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部改正の際に説明させていただいた内容について、修正をさせていただきます。
Wi-Fiルーターの貸出しについては、先ほど条件をつけているとお答えしましたが、条件はなく希望される方には貸出しをしておりますので、御了承ください。すみません、よろしくお願ひします。
- 教育長（堀部好彦君） よろしかったですかね。ありがとうございます。

(以下非公開)

(以上非公開)

閉会の宣告

- **教育長（堀部好彦君）** それでは、以上で全て終わりということで、これにて教育委員会会議を閉会します。ありがとうございました。

閉会 午前10時45分